バリアフリーフェスタかながわ2015 結果報告書

平成28年3月 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議 バリアフリーフェスタかながわ実行委員会

目次

第1章 「バリアフリーフェスタかながわ 2015」の趣旨1
1 目的 1
2 概要1
3 広報2
第2章 評価2
1 アンケート結果 2
(1) フェスタ参加者アンケート3
(2) メッセージの木11
(3) 実行委員会構成団体アンケート12
2 分析 17
(1) 協働 1 7
(2) 継続性 1 8
(3) 不特定多数の参加 18
(4) 当事者団体・事業者団体の参加 1 9
(5) 多くの意見収集1 9
(6) 身につく参加型・体験型19
(7) ユニバーサルデザイン
(8) そのほか
3 まとめ
第3章 今後の実施に当たっての課題22
1 概要22
(1) 企画の考え方22
(2) 日程
(3) 開催会場 2 3
(4) 実行委員会構成団体23
2 運営面24
(1) 運営体制 2 4
(2) スケジュール 2 4
(3) 会場レイアウト・備品25
(4) 集客手段(スタンプラリー・乗り物・ゆるキャラ)25
(5) 事前広報 2 6
(6) 当日広報 2 7
(7) そのほか 2 7
次切す 一
資料1 広報用ちらし、スタンプラリー台紙 資料2-1 バリアフリーフェスタ参加者アンケート結果
資料2-2 実行委員会構成団体アンケート結果
〜 資料3 バリアフリーフェスタかながわ2015関連会議の開催状況

第1章 「バリアフリーフェスタかながわ 2015」の趣旨

1 目的

- 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議(以下「県民会議」という。) では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自ら の意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。
- その一環として、県内の障害者等の関係団体や事業者・NPO団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ2015」 (以下「フェスタ」という。)を、相模原市内の商業施設において開催した。
- このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、平成24年9月に県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感してもらうことで、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

[企画・立案に当たっての考え方]

- ・ 県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。
- ・ 継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。
- ・ 県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設定する。
- ・ 当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。
- 県民から多くの意見をもらえる形式とする。
- ・ 来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、思いやりの心を自然と身につけるものとする。
- ・ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるよう に配慮したイベントとする。

2 概要

(1) 日時

平成27年11月8日(日) 11:30~16:30

(2) 場所

アリオ橋本(相模原市緑区大山町1番22号 「橋本駅南口」徒歩5分)

(3) 主催

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

構成:学識経験者(4)、障害者団体(7)、関係団体(3)、事業者(8)、公募委員(2) 計24名

(4) 内容

- 県民会議構成団体を含む13団体が11コーナーを企画し、運営 資料1広報用ちらしのとおり
- スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーの実施 [スタンプラリーの達成条件]
 - コーナー3か所以上のスタンプを、スタンプラリー台紙に集める。
 - ・ フロントガーデンのコーナーの中で、必ず1つのスタンプは集めるものとする。

- ・ 上記に加えて、アンケートへの回答を景品引換の達成条件とする。
- (5) 参加者数 ※ [] は昨年の数字
 - コーナー参加者数 2,054名〔2,153名〕(各団体でカウントした参加者の合計人数)
 - スタンプラリー達成者数 322名 [299名]
 - フェスタツアー参加者数 未開催 [3名]

3 広報

- 実行委員会でイベント周知用の「ちらし」を作成した。
- 各団体においては、団体内の会員を始め、様々なツールを用いて広く参加を 呼びかけた。具体的な広報としては次のとおりである。

項番	広報手段	配付(布)先又は広報手段			
1	団体内への 広報用「ちらし」配付				
2	広報用「ちらし」の 一般配布	・来場者に配布(神奈川県視覚障害者福祉協会) ・団体内玄関(カラーユニバーサルデザイン機構) ・アリオ橋本店内での配布(イトーヨーカ堂) ・アリオ橋本インフォメーション配架(イトーヨーカ堂) ・市民セミナー会場(横浜市まちづくりセンター)			
3	インターネットでの告知	 ホームページ (カラーユニバーサルデザイン機構) (神奈川県社会福祉協議会) (神奈川県) Facebook (Check) ブログ (Check) 			
4	広報媒体への掲載	・広報誌「ゆり」(神奈川県聴覚障害者協会)			
5	テレビやラジオなど マスコミを使った告知	・アール・エフ・ラジオ日本 「夏木ゆたかのホッと歌謡曲」 (神奈川県)			
6	その他	・県社協機関紙「福祉タイムズ10月号」に掲載 (神奈川県障害者自立生活支援センター) ・橋本駅にてチラシの掲示 (東日本旅客鉄道㈱横浜支社) ・メールマガジン掲載(神奈川子ども未来ファンド) ・公益社団法人日本フィランソロピー協会メールマガジン掲載 (藤解委員) ・アリオ橋本周辺小学校(神奈川県)			

※ 後述の実行委員会構成団体向けアンケートや開催前に事務局に寄せられた情報提供を基に作成

第2章 評価

1 アンケート結果

フェスタの参加者に対してアンケートを実施した。

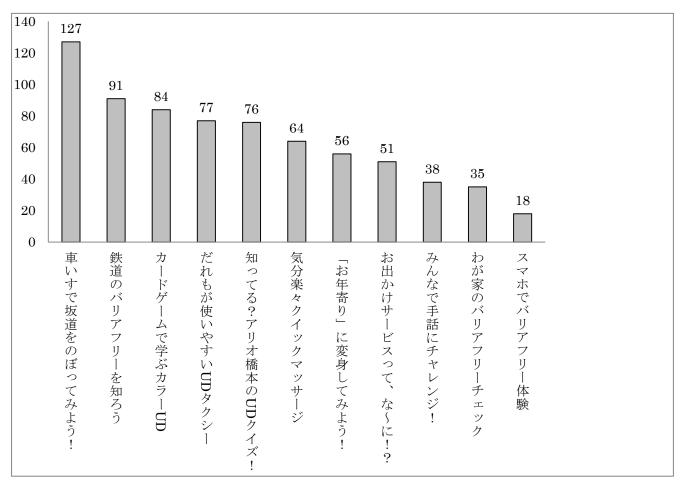
また、今後における県民会議の取組みの検討資料とするため、実行委員会構成団体に対してもアンケートを実施した。その結果は次のとおりである。

(1) フェスタ参加者アンケート

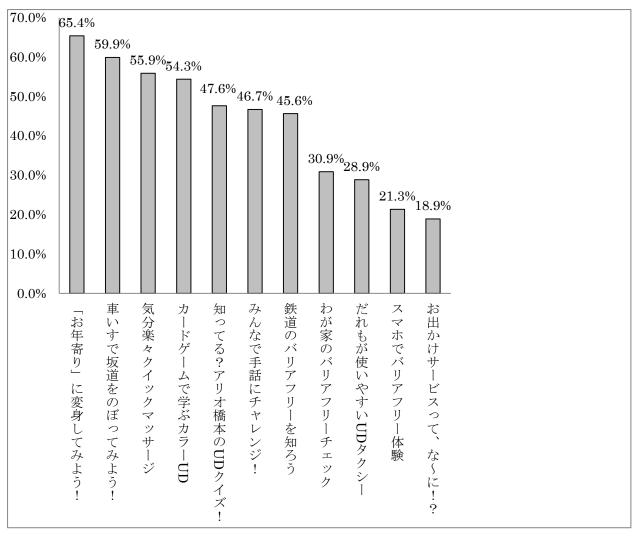
Q1 今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか? (複数回答可)

- ・ 「よかった」と思った参加者数は、「車いすで坂道をのぼってみよう」 (127名)が最も多く、次いで「鉄道のバリアフリーを知ろう」(91名)が 多かった。〔図表 1〕
- ・ また、コーナー参加者のうち何割が「よかった」と思ったか集計したところ、「『お年寄り』に変身してみよう!」(65.4%)、「車いすで坂道をのぼってみよう!」(59.9%)、「気分楽々クイックマッサージ」(55.9%)、「カードゲームで学ぶカラーUD」(54.3%)がそれぞれ5割を超えて多かった。〔図表2〕

[図表 1] 各コーナーへの感想 (n=717) (名)

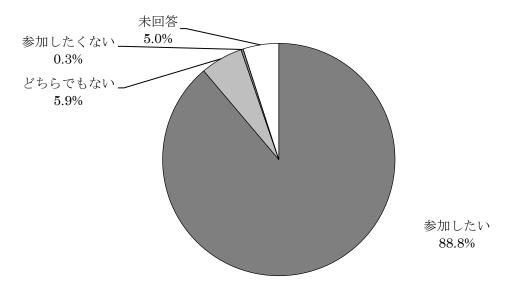


[図表2] 各コーナーへの感想(n=1568)(%)



Q2 またフェスタに参加してみたいと思いますか?

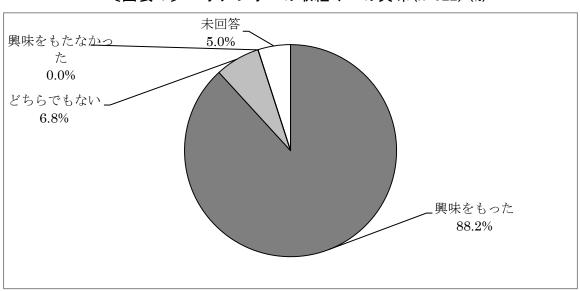
・ 次回フェスタに「参加したい」(88.8%)が9割近くに達し、昨年の90.3% に迫る割合となった。〔図表3〕



〔図表3〕次回フェスタへの参加(n=322)(%)

Q3 本日の体験を通して、バリアフリーの取組に興味をもちましたか?

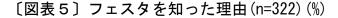
・ バリアフリーの取組みに、「興味をもった」 (88.2%) が昨年の94.0%を下回ったものの、9割近くに達した。 [図表4]

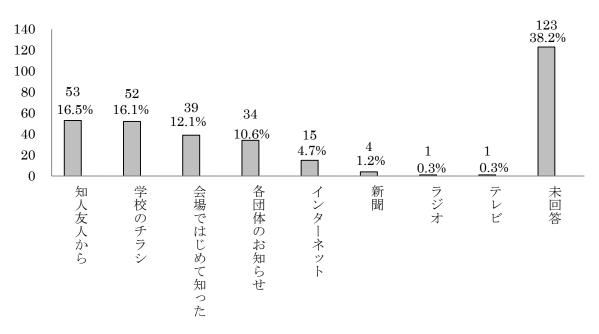


[図表4] バリアフリーの取組みへの興味(n=322)(%)

Q4 今回のフェスタを何で知りましたか?

- ・ フェスタを知った理由としては、「知人友人から」(16.5%)が最も多く、 次いで「学校のチラシ」(16.1%)、「会場ではじめて知った」(12.1%) であった。
- ※「未回答」の中に「会場ではじめて知った」という方が相当数いると推察される。(アンケート用紙に当該選択肢がなかったため) 〔図表 5〕





Q5 本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお 聞かせください。

〔主な意見〕

- ・様々な取組みがあり、とてもよいと思った。もっと勉強したいと思う。(未就学児・女性)
- ・色の見え方が違うこと(未就学児・女性)
- ・車いすで、石の上を歩いたりするのは本当に大変だと思いました。(小学生・女性)
- ・色弱の人は赤と黒がぜんぜんちがうのに同じように見えることがびっくりしました。 (小学生・女性)
- ・いろいろな所にバリアフリーがあって、おもしろかった。(小学生・男性)
- ・車いすは少しの段差でもたいへんでした。 (小学生・男性)
- ・手伝えることがあればいいと思った。(小学生・男性)
- ・お年寄りの気持ちが分かった(小学生・男性)
- ・お年寄りの体験をして見づらかった。(小学生・女性)
- ・もっとバリアフリーの設備を作ったほうがいいと感じた。(小学生・男性)

- ・色が分かりにくい人がいるなんてはじめてしった(小学生・男性)
- ・バリアフリーの取組みをもっとひろめるといいと思った。 (小学生・男性)
- ・バリアフリーのことを知って、こんなにバリアフリーがあるとはじめてわかった (小学生・女性)
- ・車で体が不自由な人のためにつくられた車があるなんてしらなかった。(小学生・女性)
- 年をとると色々不自由が出てきて不便になるのがよくわかった(小学生・女性)
- ・トイレアプリがあることを知りました(小学生・男性)
- ・これからこまった人を助ける(小学生・男性)
- ・楽しかったのでまたやりたい (一般10代・女性)
- ・車いす体験をして、当事者の目線、こわさを知りました。こういう機会はとても大切だと思います。 (一般 20 代・女性)
- ・身体の不自由な人へのタクシーをみて乗りやすそうでよかったです(一般20代・男性)
- ・車の乗り降りがこんなにも便利になっていることに驚きました。タクシーにも工夫されていることを初めて知りました。手話クイズ楽しかったです。(一般 20 代・女性)
- ・手話は知っていると便利なので今後も興味を持つようにしたい(一般30代・男性)
- ・子どもに分かりやすく教えるよい機会でした(一般30代・男性)
- ・車いすの体験で、少しの段差でも大きな障がいになることを知りました。普段ベビーカーを 使うのですが、それともまた違いを感じました。 (一般 30 代・女性)
- ・バリアフリーは身近にまだないように思いますが、ほんとはみんなに優しい取組みなのだと 思いました(一般30代・女性)
- ・新幹線の設備が充実していたのはおどろいた。 (一般 30 代・男性)
- ・電車にも多くのバリアフリーを取り入れていることを初めて知った。(一般30代・女性)
- ・車いす想像以上に大変だと思いました(一般30代・女性)
- ・年寄りにやさしくしようと思いました。 (一般30代・男性)
- ・今までバリアフリーにあまり興味を持てなかったが、今回の取組みを通じて色々子どもにも体験させることができてよかったです(一般30代・女性)
- ・タクシーが一般車と同じ料金でおどろいた (一般30代・女性)
- ・昨年いた犬のコーナーがなくて残念でした。来年楽しみにしています。 (一般 30 代・女性)
- ・なかなか子どもに体験させられない事が体験でき、家族の中で話す機会にもなった(一般 40 代・女性)
- ・たくさんのバリアフリーの取組みがあることを知りました(一般50代・女性)
- ・高齢になると通常の生活が大きな負担になることがよくわかった。誰もが使いやすい過ごしやすいものを作っていくのは大切だと感じた。(一般 50 代・女性)
- ・車いす体験を通じて坂道の難しさを知り、街で役立てようと思った。(一般60代・男性)
- ・介護タクシーではなくても普通のタクシーの中から身体の不自由な人用でも乗れるタクシーを予約できると知ったこと、お年寄りや身障者の体験ができることは皆がバリアフリーに関心を持ちやすくなるので良いと思った。 (一般 60 代・不明)

Q6 よろしければ、あなた(アンケート回答者)のことを教えてください

ア 参加者の性別

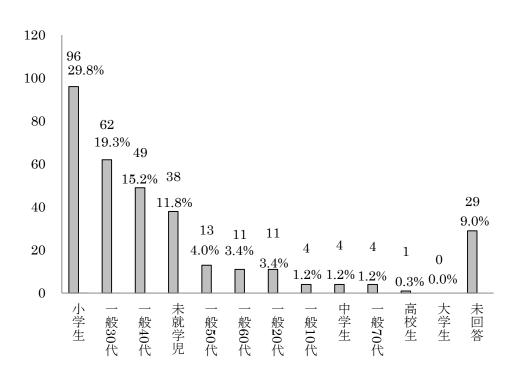
・ 参加者の性別は、「女性」(55.3%)が半数以上と多かった。〔図表6〕

男性 33.2% 女性 55.3%

〔図表6〕参加者の性別(n=322)(%)

イ 参加者の年代

・ 参加者の年代は、「小学生」(29.8%)が約3割となり、次いで「一般 30代」(19.3%)が約2割であった。〔図表7〕

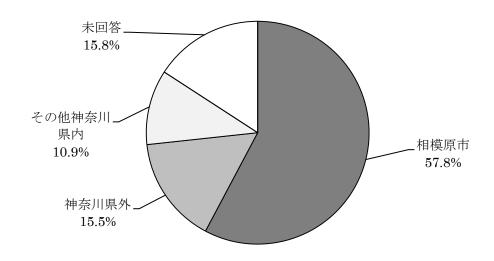


〔図表 7〕参加者の年代(n=322)(名・%)

ウ参加者の居住地

参加者の居住地は、「相模原市」(57.8%)が6割近くに達した。〔図表8〕

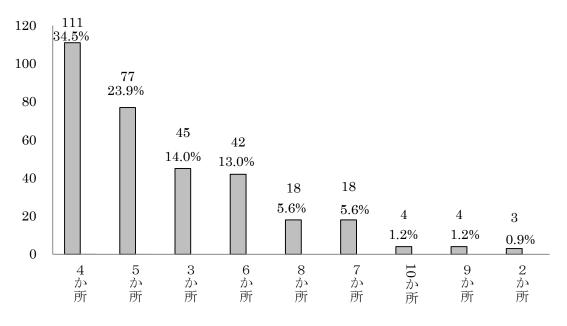
〔図表8〕参加者の居住地(n=322)(%)



(参考1) コーナー参加数

・ スタンプの押印数から 1 人当たりのコーナー参加数を集計したところ、「4 か所」(34.5%)が 3 割強となり、次いで「5 か所」(23.9%)、「3 か所」(14.0%)、「6 か所」(13.0%)が続いた。〔図表 9 〕





(参考2) スタンプラリー未達成のスタンプ押印数について

- ・ スタンプラリー未達成のスタンプ押印数は、「①各コーナーから申告のあったスタンプ押印合計数」から、「②受付に提出されたスタンプラリー台紙のスタンプ押印合計数」を引くことで、算出することができる。
- 今年のスタンプラリー未達成のスタンプ押印数は486回(①2,054回-②1,568回)となり、昨年のスタンプラリー未達成のスタンプ押印数361回(①2,154回-②1,793回)を上回っている。

(2) メッセージの木 貼付数 94 枚

今回、初めて実施した。来場者に、いろいろな花の形をした付箋に、簡単な感想を書いてもらったり、絵を描いてもらったりして、木の形をした模造紙に自由に貼ってもらうというものである。これにより、受付・景品交換の場が賑やかになり、会場全体が華やかな雰囲気に包まれた。

<主な感想・ことば>

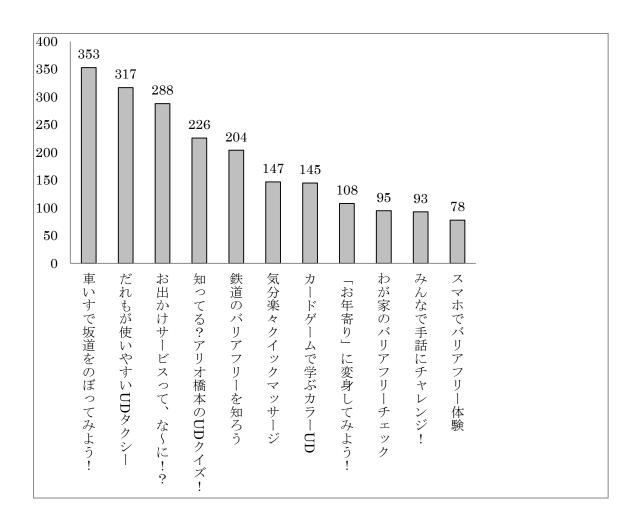
- ・にんじゃとかくるまいすがたのしかったです。またさんかしたいです。
- みんなで助け合い
- ・バリアフリーすごい
- ・ありがとう、おねがい、よろしく、おつかれさまのスタンプ
- みんなでまずは声かけを!
- ・ありがとう、かわいいね
- ・たすけよう
- バリアフリーのまちづくり、みんなで考えたいですね
- ・こまっている人を見つけ、助けよう
- ・バリアフリーのあふれる町に!!
- ・また、やってほしい
- ・ 明るく
- ・いい町にしよう

(3) 実行委員会構成団体アンケート

問1 貴団体コーナーの参加人数(スタンプを押した人数)を教えてください。

・ 各コーナーのスタンプ押印数を集計したところ、「車いすで坂道をのぼってみよう!」が353名で最も多く、次いで「だれもが使いやすいUDタクシー」の317名が続いた。 [図表10]

[図表10] 各コーナーのスタンプ押印数(n=2054)(名)



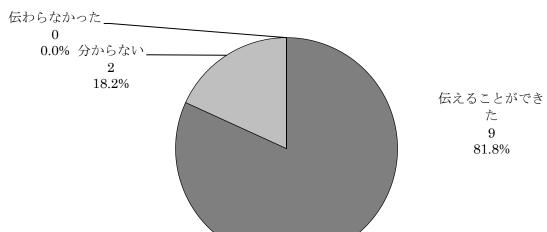
問2 貴団体がフェスタで参加者に伝えたかったことは、どのような内容ですか。

1 知ってる?アリオ橋本のUDクイズ! (株式会社イトーヨーカ堂) 「アリオ橋本店のバリアフリー設備について、なぜそのような仕様になって いるのかという理由とともに知っていただきたい。」

- 2 気分楽々クイックマッサージ (特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会) 「国家資格無資格者のマッサージを受けた事による事故が多くなっている事 実、マッサージを受けるときは、必ず有資格者のマッサージ師にかかること を知らせた。」
- 3 わが家のバリアフリーチェック(公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会) 「高齢者・障害者にやさしい住宅リフォーム」
- 4 スマホでバリアフリー体験 (特定非営利活動法人Check) 「スマホで簡単に多機能トイレが探せる。手話が勉強できる。」
- 5 カードゲームで学ぶカラーUD (特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構) 「人の色覚が多様であること。(色の見え方にはタイプがあり、情報が伝わらないことがある)」
- 6 「お年寄り」に変身してみよう! (社会福祉法人相模原市社会福祉協議会/神奈川県社会福祉協議会) 「高齢者が日常生活を送る上での苦労であったり、社会環境が違ってみえる ことについて、体験を通して理解すること。」
- 7 みんなで手話にチャレンジ! (公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会) 「手話はろう者の言語であり、視覚的に豊かな表現力を持った言語である。」
- 9 鉄道のバリアフリーを知ろう(東日本旅客鉄道(株)横浜支社) 「弊社のバリアフリー設備が、駅や車両の様々な箇所に設置されていること や、一人ひとりが高齢者、障害者等の困難を理解し、バリアをなくそうと積 極的に協力する『心のバリアフリー』の重要性について」
- 10 だれもが使いやすいUDタクシー(一般社団法人神奈川県タクシー協会) 「タクシーはセダン型だけではなく、車イス利用の方など誰もが乗車できる UDタクシーがあるということ。運賃も通常タクシーと同じであること。」
- 11 お出かけサービスってな~に!? (特定非営利活動法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 「体が不自由になっても高齢になっても、自由にお出かけができるということ。福祉有償運送やUDタクシーなど選択肢はあり、状況によって選べるということ。」

問3 フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることはできましたか。

「伝えることができた」が回答数11団体のうち9団体に達した。〔図表 11〕



[図表11] フェスタでの達成度(n=11)(団体数・%)

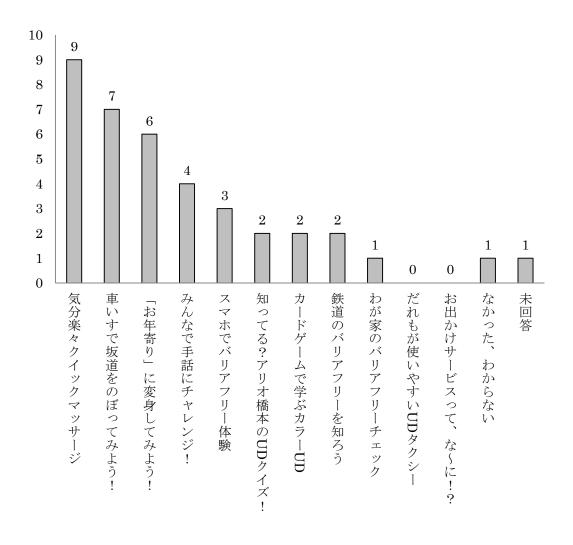
問3-2 伝えることができなかった理由は何ですか。

「内容が難しすぎた」、「当日の対応時間が足りなかった」「相手に興味がなかった」という意見が挙げられた。

問4 貴団体以外のコーナーで、よかったと思うコーナーはどれですか。 (複数回答3つまで)

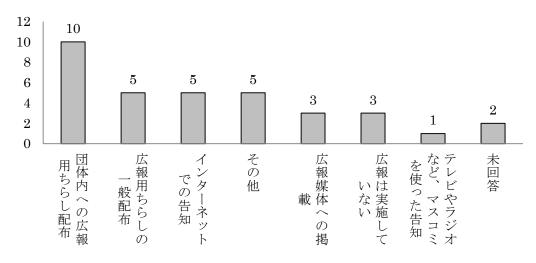
・ 「よかった」と思った団体は、「気分楽々クイックマッサージ」が9団体 と最も多く、次いで「車いすで坂道をのぼってみよう!」が7団体、「お年 寄りに変身してみよう!」が6団体で続いた。〔図表12〕

[図表12] 各コーナーへの感想(n=38)(団体)



問5 貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。

・ 広報手段の得票数を集計したところ、「団体内への広報用ちらし配布」が 最も多く、次いで、「広報用ちらしの一般配布」「インターネットでの告知」 が並んだ。詳細は、第1章項番3「広報」に記載。〔図表13〕

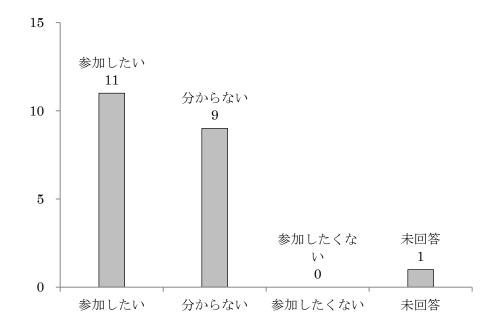


〔図表13〕各団体の広報手段(n=34)(票)

問6 次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。

・ 次回フェスタに「参加したい」が回答数20団体のうち11団体で、分からないが9団体と約半数に分かれた。 [図表14]

[図表14] 次回フェスタへの参加(n=21)(団体)



問6-2 参加したいと思えなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- ・ 「スタッフが確保できない」「予算がない」がともに5票で最も多く、次いで「準備する時間がない」が2票だった。
- ・ その他、「開催場所によって」「他のイベントへの参加もあり、調整を要するため」「当協会のイベントと日程が重なる可能性がある」という意見があった。

問7 次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由 にお書きください。

資料2-2別記に記載。

問8 御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

資料2-2別記に記載。

2 分析

- 項番1で記した「バリアフリーフェスタ参加者」、及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートなどを基に、フェスタの目的が達成できたかどうか検証する。
- 具体的には、第1章項番1で示した7つの「企画の考え方」、すなわち「(1)協働」「(2)継続性」「(3)不特定多数の参加」「(4)当事者団体・事業者団体の参加」「(5)多くの意見収集」「(6)身につく参加型・体験型」「(7)ユニバーサルデザイン」の観点から主に評価する。

(1) 協働

- 県民会議では、県民意見を基に、バリアフリーの街づくりに向けて、県 民・事業者・行政が協働して取り組むべきことを、提案書としてまとめ、県 民会議の構成団体を中心に、本提案に基づいた取組みを進めている。この取 組みの一環として、県内の障害者等の関係団体や事業者・NPO団体、県民 から公募委員、行政の協働により、フェスタは開催された。
- 参加者から「いろいろな体験ができてよい」と意見があったように、各団体の取組みを一堂に会したことで、参加者の多様なニーズに対応することができた。その結果、スタンプラリーの達成条件よりも多くのコーナーに参加・体験した参加者が9割に達したことに加え、バリアフリーの取組みに「興味をもった」も9割近くに達するなど、高い満足度につながる一因となった。
- 一方で、実行委員会構成団体アンケートでは、「会議に出ていて全体のトーンが最後まで掴めなかった」「バリアフリーの理念を広げる工夫など全体

を統一するテーマ設定は不要なのだろうか」といった疑問や、「担当ブースの対応に追われ、他のブースの内容を知ることができなかったので、全体的な構成が分かるようにした方がよい」などが意見として挙げられた。

(2) 継続性

- バリアフリーの街づくりに向けたソフト的な取組みは、定期的に継続していくことが重要であり、フェスタについても継続性が求められる。
- 過去2回実施した経験を活かし、さらに洗練したものにしていくために、 今年のフェスタでは持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進めてい くことを目標とした。
- 各種製作物の作成者については、県民会議構成団体・フェスタ参加団体から募ったが、立候補者はいなかったため、「ちらし・のぼり旗」などのデザインについては事務局が担当し、ステージレイアウトについては神奈川県建築士会の下村氏に依頼することとなった。
- 「フェスタ開催が3回アリオ橋本で続いている。障害者に対する啓蒙を県 民に広く伝えるために、開催場所を変えるべきである」という意見があった。

(3) 不特定多数の参加

- これまでバリアフリー関連のイベントは、より広く様々な立場の方々に参加を呼びかけていたものの、結果的にバリアフリーに興味のある方のみの参加にとどまることが多かった。
- 今回のフェスタでは、バリアフリーに興味のない方々にバリアフリーの街づくりに向けた取組みを知ってもらうため、1日数万人単位で人が集まる商業施設「アリオ橋本」を開催会場とした。
- 昨年度と比較すると、コーナー参加者数 2,054 名、スタンプラリー達成者数 322 名と、イベント参加者数に若干の減少が見られたものの、スタンプラリー達成者数では昨年を上回る結果となった。バリアフリーのイベントとしては多くの人数を集客することができた。
- また、参加者アンケートによると、数字上では「会場で初めて知った」が 1割強となっているが、未回答の中に、潜在的な数値が隠されていると推察 する。(アンケート用紙に当該選択肢がなかったため)したがって、不特定 多数の参加を促すという目的は十分に達成されたものと判断する。
- 一方、実行委員会構成団体アンケートでは、「せっかくすばらしい取組みをしているので、もう少し広報活動に力を入れてアピールすべき」との意見があった。
- フェスタ終了後の口頭聞き取り調査では、「昨年より動員数が多かったような気がする」と意見があったように、屋内における1コーナー当たりの参加人数は昨年度よりも増えている。一方、「ステージを利用しない時間が多かったので、もう少し有効活用した方がよい」という意見もあった。

(4) 当事者団体・事業者団体の参加

- 県民会議で取りまとめた提案書のテーマの1つとして、「多様な人が住ま う「街」への気づき、障害者理解の促進」を挙げている。バリアフリーを推 進するに当たっては、異なるニーズを持つ当事者同士が交流することにより 他者への理解を深めるとともに、障害当事者の声を十分に聞くことが欠かせ ない。また、視覚障害の方にとって必要な視覚障害者用誘導ブロックは、高 齢者や車いす利用者にとっては移動のバリアになることもあるなど、立場に より考え方が相違していることから、障害当事者間の相互理解も必要である。 こうした考え方を踏まえ、フェスタでは当事者団体や事業者団体の自主的な 参加を促すことで、当事者同士が交流するきっかけを提供し、提案書のテー マを実践することとした。
- 参加者アンケートでは、バリアフリーの取組みに「興味をもった」が9割 近くに達するなど、障害当事者の参加により説得力の効果が十分に現れた。
- また、実行委員会構成団体アンケートでは、「当事者団体・事業者団体間」 や「障害当事者間」における相互理解の促進に関して、「各団体とも少しで もバリアの少ない街づくりをしていこうとする前向きな姿勢が非常に勉強に なった」という感想があった。

(5) 多くの意見収集

- ユニバーサルデザインの考え方に基づく街づくりを進めていくに当たっては、様々な立場の方の意見を聴き、取組みに反映していくことが重要である。そこで、フェスタでは、参加者に対してバリアフリーの街づくりに関する意見を聞けるよう、アンケートを実施し、スタンプラリーの達成条件の1つとした。
- スタンプラリー達成者 322 名のうち 178 名が自由意見を記載し、多くの意見を収集することができた。いただいた意見は、今後、必要に応じてバリアフリーの街づくりに向けた取組みに反映していくこととする。

(6) 身につく参加型・体験型

- バリアフリー学習については、本人が実際に体験することが効果的と言われている。また、フェスタでは別の目的をもって来場した、不特定多数の方を呼び込む必要があったため、来場者が気軽・身近に感じられる内容とする必要があった。
- 各コーナーでは、車いす乗車・介助体験、手話教室、シニア体験など、不 特定多数の方が参加しやすい参加型・体験型の内容が多くなり、コーナー参 加者数 2,054 名、スタンプラリー達成者数 322 名と、多くの参加者を集客す ることができた。
- また、以前のフェスタでは、「大変だった」「楽しかった」「かわいそう だった」という自由意見が多く、「心のバリアフリー」の理解促進という点

では物足りないところもあったため、今年のフェスタでは、バリアフリーの 必要性、思いやりの心を自然と身につけてもらうことを目標とした。

○ 参加者アンケートでも、「手伝えることがあればいいと思った」「身体が 不自由な方の気持ちが分かり、住みやすい社会を一緒に作り上げていけたら よいと思った」など、参加者が問題に気付き、行動に移すような自由意見が 見受けられた。

(7) ユニバーサルデザイン

- 県民会議の議論を踏まえ、フェスタでは来場者又はスタッフの誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとすることとした。
- 具体的には、
 - ・ 開催会場は、バリアフリー設備が充実した、アリオ橋本(第3回バリアフリー街づくり賞表彰施設)を設定
 - ・ 250cm 程度の通路幅を確保
 - 手話通訳者を配置
 - ・ 配布物・掲示物はカラーバリアフリーに配慮するとともに、原則として ふりがなを記載

といったように、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた運営を心がけた。

(8) そのほか

- 「のぼり旗をもう少し目立つ色にした方がよい」、「ブースのスペースが狭かった」、「各ブースは来場者の通り道に面して出展させてほしい」、「準備の際の段取りが悪かったように感じた」、「実際、屋内の手話通訳者の方が忙しい。屋内と屋外の手話通訳者の人数配置を考えた方がよい」など、運営に関する意見が多数寄せられた。
- 他にも、「ステージ利用時には、演目(めくり)があると良かった」、「景品交換・アンケート記入の場で、混雑する時間帯などテーブルがいっぱいになり、スムーズに案内ができなかった」「動線が交差する場面が何度かあった」などの意見があった。

[バリアフリー教育の拡大・充実について]

- 昨年度実施した小学校教諭向けのバリアフリーフェスタツアーには、参加者が若干名しか集まらなかったため、今回は、イベントとの同時開催は見送ることとした。
- 参加者が集まらない理由としては、「フェスタの時期には、『総合的な学習の時間』のカリキュラム内容が決まっているため、フェスタツアーへの関心が低い」「小学校には同様のイベントチラシが大量に送られており、情報が埋もれてしまっている」「フェスタツアーとほかの行事の日程が重なり、参加できない」といったことが挙げられている。
- そのため、今後は、ツアー単独開催を検討していくとよい。

3 まとめ

フェスタについて、運営に関していくつか課題はあったものの、フェスタ参加者への成果についてはおおむね高い評価が与えられるものであった。バリアフリーの街づくりに対する理解を深めるに当たって、フェスタは有効な手段であったと思われる。

また、参加者アンケートでは、次回フェスタに「参加したい」が9割近くに達し、実行委員会構成団体アンケートでも、11団体が「参加したい」と回答している。

このように、フェスタの有効性・ニーズが高いことから、第1章項番1で示した「企画の考え方」の考え方を継承しつつ、継続的にフェスタを開催していくとよい。

第3章 今後の実施に当たっての課題

次回フェスタを開催するに当たり、検討すべき課題について、「実行委員会構成 団体」に対するアンケートなどを基に、「概要」「運営面」の区分で記載する。

1 概要

(1) 企画の考え方

[主な検討課題]

- ・ 負担の均等化による協働意識の強化
- フェスタツアー実施方法の再検討
- バリアフリーの街づくりに向けたソフト的な取組みは、定期的に継続していくことが重要であり、フェスタについても継続性が求められる。
- 「フェスタは各団体の協働によるイベントである」という原点を再認識し、 期限内の回答、他団体への関心・誘導、全体運営や準備・製作への参加とい う点を強化し、実行委員会構成団体間でなるべく負担を均等化していく必要 がある。
- 今回は、デザイン考案者に立候補がなかったこと及び納品期日などの関係から「ちらし」のデザイン作成・印刷は事務局で負担したが、フェスタは県民会議主催で開催するものであるため、本来、県民会議構成団体が中心となってデザイン等のレイアウトを考案し、印刷事務は事務局で負担するという方法にするべきである。しかしながら、デザイン考案者を固定するなど、一部の関係者の負担が大きくなりすぎることは、継続性の点からも好ましくはない。
- また、フェスタツアーについては、今回はイベントとの同時開催は前回の 反省点を踏まえ、実施していないが、バリアフリー教育の充実・拡大の観点 から、今後は単独的かつ継続的な開催の検討が望まれる。
- <u>ツアーを開催する際は、小学校教諭のニーズを踏まえた適切な時期・内容</u> を再検討し、効果的な周知を行っていく必要がある。

(2) 日程

- 天気は雨であったが、例年どおりの気温で、参加者及びスタッフから時期 についての意見はなかった。<u>準備期間を考慮すると、今後も、開催会場の空</u> き状況を踏まえながら、比較的過ごしやすい10月又は11月を念頭に検討す るとよい。
- 施設の特徴や主な客層を掴み、より来客数が多い日時を選択する必要がある。

(3) 開催会場

- 「参加者」に対するアンケートでは、「またやりたいです」「また体験してもっと知りたい」など、同じ会場での開催を前提とする意見が寄せられた一方で、「実行委員会構成団体」に対するアンケートでは、「3回アリオ橋本で開催しているので、来年は場所を変更する必要がある」「毎年、場所を変えての開催は難しいでしょうか」、「川崎市内での開催を望む」など、別会場での開催を望む意見が多数あった。
- 同会場で開催するメリットとしては、参加者に対して定期的かつ継続的に働きかけることにより、バリアフリーの街づくりに向けた取組みを効果的に普及できることや、参加団体が会場・参加者の特性を把握できているため、コーナー内容の充実を図りやすいことが挙げられる。
- しかしながら、今回で同会場での開催は3回目となるため、効果面を考慮すると、地域を変えるなど、バリアフリーの街づくりに関する意識の高まりを県内全域に普及させていくとよい。

(4) 実行委員会構成団体

〔主な検討課題〕

- 新規出展団体の発掘・追加
- 既存出展団体の新たな内容
- 実行委員会構成団体アンケート結果、次回フェスタに 11 団体が「参加したい」と回答しているが、これを出展団体とその他団体で分けてみると、出展団体は概ね次回開催に前向きだが、非出展団体は諸事情により、消極的であることが判明した。
- これまでの既存出展団体のままでフェスタを継続することになれば、いずれ常態化してしまい、新たな内容に挑戦しなくなってしまうことが危惧される。
- そこで、新しい風として新規出展団体を呼び込み、フェスタを活性化させ ることも検討していくとよい。また、既存出展団体もこれまでの内容を振り 返り、見直すべきところがあれば改善し、場合によっては新たな内容を考案 する必要がある。

2 運営面

(1) 運営体制

〔主な検討課題〕

- 全体運営の体制強化に向けた検討
- ・ フェスタ出展団体に対する実行委員会への参加義務
- 「統括」2名、「統括補助」3名、「その他スタッフ」12名から構成される、「全体運営スタッフ」と、「各コーナースタッフ」82名の計99名の体制となった。全体運営と各コーナーとの調整は、「統括補助」と「コーナーリーダー」が行うこととした。昨年の経験を踏まえ、「全体運営スタッフ」は、実行委員会各構成団体から必ず1名以上出してもらうことで、全体運営の体制強化を図った。
- 今後も、実行委員会委員が「全体運営スタッフ」になるなど、全体運営の 体制強化を図る必要がある。これにより「実行委員会構成団体」の主体性を 促進することも期待できる。
- なお、前回の経験を踏まえ、景品交換担当は常時4名以上、混雑時間帯などは7、8名で対応できるよう昼食休憩を考慮したローテーションを組んだ結果、人員不足で業務の進行の妨げになったなどの意見は出なかった。
- また、今年のフェスタでは、コミュニケーション不足による行き違いや事故につながりかねない事例は見受けられなかったが、団体間、スタッフ間の意志疎通を確実なものとするため、フェスタ出展団体は実行委員会への参加を必須にするという対応を継続するとよい。

(2) スケジュール

- 今回も昨年同様、設営準備スタッフは8時55分、その他スタッフは10時30分集合とし、11時30分からの開催に向けて準備を進めた。
- フェスタ開催時間について問題はなかったが、「実行委員会構成団体」に 対するアンケートで、<u>設営準備について、「少し段取りが悪かったような気</u> がした」という意見があった。
- 今回、設営準備に時間がかかってしまい、準備完了が開催時間ギリギリに なっていた団体もあった。
- 設営準備スタッフ、その他スタッフ集合時間ともに、あと 15 分程度早くして、もう少し準備時間に余裕を持たせることも検討するとよい。

(3) 会場レイアウト・備品

〔主な検討課題〕

- ステージ利用の有無
- 来場者が出展ブースを見つけやすい導線の確保
- ステージの状況が会場全体の雰囲気に影響するためか、「実行委員会構成 団体」に対するアンケートに、「ステージを使わない時間が多かったので、 もう少し有効利用した方が良い」、「いま何をしているかが分かるように演 目(めくり)の様なものがあると良い」という意見があったように、今後、 ステージ利用がある場合は、工夫が求められる。
- ○会場外で呼び込みを行ったが、アリオ橋本の来客者をステージの客席まで誘導することは簡単ではなかった。
- 今回のフェスタでは、元々ステージ利用希望団体が 0 団体であったところを事務局含め 3 団体まで増やしたが、今後、常設ステージがある会場で開催する場合は、必要がないならばステージは使わないなど、ステージ利用の有無について検討する必要がある。
- 今回はじめて、事務局がゆるキャラ3体を活用して、手話の普及啓発に関するミニ劇を披露した。ステージ前の客席は半分ほど埋まったがやはり空席が目立った。今後は、もう少し当日の集客に力を注ぎ、もっと多くの県民に観てもらう必要がある。
- また、今回はグランドガーデン・フロントガーデンの2会場で開催したが、 昨年の経験を踏まえ、来客者をグランドガーデン及びフロントガーデンに、 均一に誘導するために、フロントガーデンのコーナーの中で、必ず1つのス タンプは集めることとした。
- 結果、フロントガーデンの2つのコーナーには多くの参加者が訪れ、2会場の一体感は高まったと思われる。
- 実行委員会構成団体アンケートで、「ブースは来場者の導線に面した場所 に配置してほしい」という意見があった。今後は、会場の規模・状況を考慮 しながら、区割りについて改善する必要がある。

(4) 集客手段(スタンプラリー・乗り物・ゆるキャラ)

〔主な検討課題〕

- 主たる対象者に対して、効果的な集客手段の検討
- 参加者の4割が未就学児・小学生であったこともあり、スタンプラリー・ 福引きのワクワク感、乗り物への好奇心などを利用した、分かりやすい集客 手段は有効であったと思われる。
- 今回のように子どもが主な対象となる場合は、普段から馴染みのある分かりやすい集客手段を検討し、さらなる充実を図るとよい。これらの集客手段

は、実際に子育て中の方からの助言をきっかけに立案されたものである。集客手段の検討に当たっては、主な対象をよく知る方の意見が大切となる。

- また、昨年の経験を踏まえて、スタンプラリーの達成条件については、コーナー3か所以上のスタンプを、スタンプラリー台紙に集めることとしたが、スタンプラリー未達成のスタンプ押印数は486回と、昨年のスタンプラリー未達成のスタンプ押印数361回を上回った。スタンプラリーの達成条件が厳しいためか、達成前にあきらめ、会場を後にした参加者が多いと思われる。しかしながら、今回は景品が多種多様であったため、景品交換コーナーは比較的盛況であり、前回よりスタンプラリー達成者数は増加した。
- 会場全体の盛況感を高め、より多くの不特定多数の参加者を呼び込みやすい環境づくりを重視するのか、より多くのコーナーへの参加を促すことを重視するのか、3回の経験を踏まえて、スタンプラリーの達成条件を検討する必要がある。
- 今回、ゆるキャラを3体登場させた。ゆるキャラの効果については、小さな子どもを連れた家族が足を止め、ゆるキャラと触れ合ったり写真を撮ったりしていた。フェスタの盛り上がりに一定の効果はあったが、「参加者」及び「実行委員会構成団体」に対するアンケートに記載はなく、集客効果にどれだけ貢献していたかは不明である。ゆるキャラに触れ合っている人は多かったことから、その方々を会場に誘導する仕組みを検討する必要がある。

(5) 事前広報

〔主な検討課題〕

- ・ 「実行委員会構成団体」による主体的なちらしの作成・広報
- ・ テレビ事前広報
- 今回、相模原市教育委員会を通じて、小学校長会で事前にイベントの開催 案内を行い、後日、相模原市内全ての小学校に配布した。
- イベント周知用の「ちらし」は、事務局で案を作成し、実行委員会で決定 した。特徴的な点として、アリオ橋本周辺の小学校 16 校の児童約 11,000 名、 その他相模原市内の小学校 56 校に 10 部ずつ「ちらし」を配布した。
- 今回、フェスタを知ったきっかけを参加者アンケートで確認したところ、 小学校に配布した「ちらし」を見て来場した人は 52 名と、スタンプラリー 達成者の 16%程度であったが、来場者全体としてみれば、潜在的数値が隠 れていると思われる。
- 前回と比較して、今回のフェスタでは、小学校配布による集客効果が高かったとは言い難いが、今後も小学校への広報は継続した方がよい。
- なお、各団体からのお知らせで来場した人は 34 名と前回の倍の人数に増えている。今後も、実行委員会構成団体は、広報を積極的に展開していく必要がある。

- また、「ちらし」のデザインは、フェスタの根付きを見据えて、事務局主 導ではなく、「実行委員会構成団体」が主体的に作成できる仕組みを検討す るべきである。
- 今回、株式会社イトーヨーカ堂を通して、カナフル TV に事前の広報協力 を依頼しようと試みたが、テレビ局側と調整が間に合わず、今回は見送るこ ととなった。
- <u>今後は、事前広報について、テレビ局側と早めに調整ができるよう準備を</u> 進めた方がよい。

(6) 当日広報

〔主な検討課題〕

- 効果的な誘導方法・体制の検討
- アリオ橋本における当日の広報としては、各種掲示板への「ちらし」掲載、 来客者へのスタンプラリー台紙の配布、館内放送案内を行った。
- 今後は、これまでやってきたことは継続して実行し、会場の提供者である 施設担当者と密に連携を取りながら、施設内における主たる看板やホームペ ージ等に、イベント情報を掲載してもらえるよう調整していく必要がある。

(7) そのほか

[主な検討課題]

- 当日取材の検討
- フェスタの様子をテレビで放映してもらえれば、後日になるが、県民会議 の取組みを県民に広く周知することができ、バリアフリーの街づくりの普及 啓発につながる。
- フェスタ当日の様子について、株式会社イトーヨーカ堂を通して、カナフル TV に取材協力を依頼しようと試みたが、テレビ局側の企画の趣旨と調整できず、今回は見送ることとなった。
- <u>今後は、当日取材について、テレビ局側と早めに調整ができるよう準備を</u> 進めた方がよい。

バリアフリーフェスタかながわ2015

日時 平成27年11月8日(日曜日) 11時30分から 16時30分まで

場所 アリオ橋本 グランドガーデン・フロントガーデン

みんなで体験!バリアフリーの街づくり



神奈川県PRキャラクター かながわキンタロウ バリアフリーの街づくりって何だろう?ボクと一緒に体験してみよう! ^{たの}楽しい展示や体験がいっぱい! スタンプラリーで景品ゲットのチャンスもあるよ! みんなで遊びに来てね!

バリアフリーの展示や体験をしています!

知ってる?アリオ橋本のUDクイズ!

(株) イトーヨー力堂

まぶんらくらく 気分楽々クイックマッサージ

(NPO)神奈川県視覚障害者福祉協会

<るま 車 いすで坂道をのぼってみよう!

(NPO) 神奈川県障害者自立生活支援センター

(NPO) 横浜市まちづくりセンター

だれもが使いやすいUDタクシー

(一社)神奈川県タクシー協会

みんなで手話にチャレンジ!

(公社) 神奈川県聴覚障害者協会

わが家のバリアフリーチェック

(公社) かながわ住まいまちづくり協会

お出かけサービスって、な~に!?

(NPO) かながわ福祉移動サービスネットワーク

カードゲームで学ぶカラーUD

(NPO) カラーユニバーサルデザイン機構

「お年寄り」に変身してみよう!

(福) 相模原市社会福祉協議会

(福)神奈川県社会福祉協議会

スマホでバリアフリー体験

(NPO) Check

鉄道のバリアフリーを知ろう

東日本旅客鉄道(株)横浜支社

(団体名五十音順)

※UD:ユニバーサルデザイン (**U**niversal **D**esign)のこと

主催:神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

(裏面も見てね)

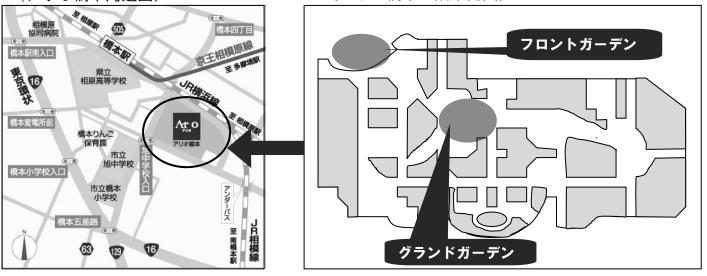
会場あんない

アリオ橋本 グランドガーデン(1階屋内)・フロントガーデン(1階屋外)

かながわけんさがみはらしみどりくおおやまちょう 神奈川県相模原市緑区大山町1-22 京王相模原線・JR横浜線・JR相模線 橋本駅より徒歩5分

(アリオ橋本周辺図)

(アリオ橋本1階案内図)



【イベントイメージ









みんなで進めよう!バリアフリーの街づくり

かながわけん 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方 などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めています。

街中のいろいろなマーク、いくつ知っているかな?



覚マーク ったが不自由な ことを示すマーク



祖覚 障害のマーク 視覚障害を示す国際シン ボルマークです。



さまざまな 障害者が りょう たてもの しせつ 利用できる建物や施設 を示すマークです。



マタニティマーク 妊産婦がカバンなどに付け、 周囲が配慮をしやすくする マークです。

お問い合わせ先

ゕながわけん 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議事務局(神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課)

お問い合わせ時間 平日の8時30分から17時15分まで 電話 045-210-4804

バリアフリーフェスタかながわ 2015

スタンプラリー



神奈川県PRキャラクター

①知ってる?アリオ橋本のUDクイズ!

(株)イトーヨー力堂

^{てんほ} 店舗でのユニバーサルデザインをクイズで紹介します!

②気分楽々クイックマッサージ

(NPO) 神奈川県視覚障害者福祉協会

クイックマッサージを受けてリラックスしよう!

③わが家のバリアフリーチェック

(公社)かながわ住まいまちづくり協会 自分の家のバリアフリーをチェックしてみよう!

4スマホでバリアフリー体験

(NPO) Check

スマホのアプリで多機能トイレを検索しよう!

⑤カードゲームで掌ぶカラーUD ※

(NPO)カラーユニバーサルデザイン機構

カードゲームをして色のユニバーサルデザインについて知ろう!

⑥「お年寄り」に変身してみよう!

(福)相模原市社会福祉協議会(福)神奈川県社会福祉協議会

シニア体験セットでお年寄りの体験をしよう!

7みんなで手譜にチャレンジ! ※

(公社)神奈川県聴覚障害者協会

ミニ手話教室をやっています!

8 車いすで坂道をのぼってみよう!

(NPO)神奈川県障害者自立生活支援センター (NPO)横浜市まちづくりセンター

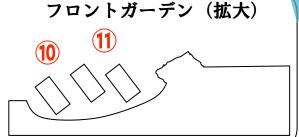
きみは 革 いすで坂道を登れるかな?

9 鉄道のバリアフリーを刈ろう

東日本旅客鉄道(株)横浜支社

鉄道のバリアフリーはどのようにつくられているのかな?









(一社)神奈川県タクシー協会

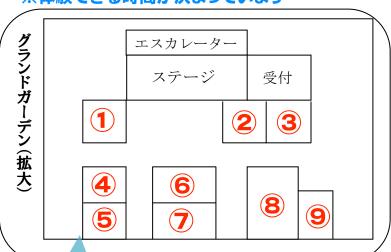
タクシーのユニバーサルデザインを苅ろう!

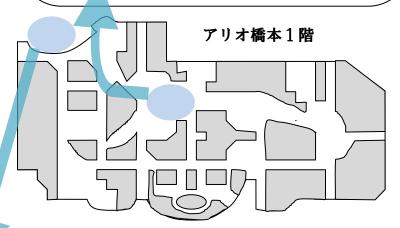
(1)お出かけサービスって、な~に!?

(NPO)かながわ福祉移動サービスネットワーク

お出かけサービスについて苅ろう!

※体験できる時間が決まっています





ルールせつめい!!

スタンプをあつめて、うら面のアンケート(保護者記入可)を 書いてくれたら、景品こうかんができるよ!

グランドガーデンから2つとフロントガーデンから1つ

あわせて3つ以上をあつめてね!

景品こうかんでは、ごうか景品があたるかも! わからないことがあったらグランドガーデンの受付に来てね



アンケート (保護者記入可)

Q1:今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか?番号に○をつけてください (いくつ○をつけてもよいです)

1 知ってる?アリオ橋本のUDクイズ!

(株)イトーヨー力堂

2 気分楽々クイックマッサージ

(NPO) 神奈川県視覚障害者福祉協会

3 わが家のバリアフリーチェック

(公社)かながわ住まいまちづくり協会

4 スマホでバリアフリー体験

(NPO) Check

5 カードゲームでデジスカラーUD

(NPO)カラーユニバーサルデザイン機構

6「お年寄り」に変身してみよう!

(福)相模原市社会福祉協議会(福)神奈川県社会福祉協議会

7 みんなで手詰にチャレンジ!

(公社)神奈川県聴覚障害者協会

8 草いすで坂道をのぼってみよう!

(NPO)神奈川県障害者自立生活支援センター (NPO)横浜市まちづくりセンター

9 鉄道のバリアフリーを知ろう

東日本旅客鉄道(株)横浜支社

10 だれもが使いやすいUDタクシー

(一社)神奈川県タクシー協会

11 お並かけサービスって、な~に!?

(NPO)かながわ福祉移動サービスネットワーク

Q2:またバリアフリーフェスタに参加してみたいと思いますか? ○をつけてください

参加したい

どちらでもない

参加したくない

Q3:本日の体験を通して、バリアフリーの取組みに興味をもちましたか?〇をつけてください

動味をもった

どちらでもない

興味をもたなかった

Q4:今回のバリアフリーフェスタを何で知りましたか?(いくつ〇をつけてもよいです)

学校のチラシ · 各団体のお知らせ · 如人友人から インターネット · ラジオ · TV · 新聞

Q5:本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください

たとえば→たくさんのバリアフリーの収組みがあることを知り、まちの中のバリアフリーをもっと探してみようと思った。

Q6:よろしければ、あなた(アンケート回答者) のことを教えてください

性別:男性・女性

年代:未就学児・小学生・中学生・高校生・大学生

その他一般(10代 - 20代 - 30代 - 40代 - 50代 - 60代 70代 80代以上)

お住まい:相模原市・その他神奈川県内(市・町・村)・神奈川県外

アンケートにご協力ありがとうございました

バリアフリーフェスタ参加者アンケート

(保護者記入可)

Q1:今回のフェスタで、どのコーナーがよかったですか?番号に〇をつけてください (いくつ〇をつけてもよいです)

上段:回答数、中段:参加者数のうち回答数/参加者数、下段:中段の割合(%)

(n=上段:717、中段:642/1568)

1	知ってる?アリオ橋本の UD クイズ! (株) イトーヨーカ堂	76 70/147 47. 6%	2	気分楽々クイックマッサージ (NP0) 神奈川県視覚障害者福祉協会	64 57/102 55. 8%
3	わが家のバリアフリーチェック (公社)かながわ住まいまちづくり協会	35 37/102 36. 3%	4	スマホでバリアフリー体験 (NPO)Check	85 69/138 50. 0%
5	カードゲームで学ぶカラーUD (NP0)カラーユニバーサルデザイン機構	55 25/ 81 30. 8%	6	お年寄りに変身してみよう! (社福)相模原市社会福祉協議会/(社福)神奈川県社会福祉協議会	56 51/ 78 65. 3%
7	みんなで手話にチャレンジ! (公社)神奈川県聴覚障害者協会	38 21/ 45 46. 6%	8	車いすで坂道をのぼってみよう! (NPO)神奈川県障害者自立生活支援センター (NPO)横浜市まちづくりセンター	127 121/202 59. 9%
9	鉄道のバリアフリーを知ろう 東日本旅客鉄道(株)横浜支社	91 83/182 45. 6%	10	だれもが使いやすい UD タクシー (一社)神奈川県タクシー協会	77 73/253 28. 8%
11	お出かけサービスってな〜に!? (NPO)かながわ福祉移動サービスネットワーク	51 50/265 18.8%	12	無回答	30 -/- -

Q2:またバリアフリーフェスタに参加してみたいと思いますか?〇をつけてください

回答数/割合(%) (n=322)

参加したい 286/88.8% どちらでもない 19/5.9% 参加したくない 1/0.3% (無回答 16/5.0%)

Q3:本日の体験を通して、バリアフリーの取組に興味をもちましたか?〇をつけてください

回答数/割合(%) (n=322)

 興味をもった
 284/88.2%
 どちらでもない
 22/6.8%
 興味をもたなかった
 0/0.0%

 (無回答 16/5.0%)

Q4:今回のバリアフリーフェスタを何で知りましたか?(いくつ〇をつけてもよいです)

回答数/割合(%) (n=322)

学校のチラシ	52/16. 1%	各団体のお知らせ	± 34/10.6%		
知人友人から	53/16.5%	インターネット	15/ 4.7%	ラジオ	1/ 0.3%
テレビ	1/ 0.3%	新聞	4/ 1.2%	会場で初めて知っ	t ₋ 39/12.1%
		•		(無回答 123	/38 2%)

Q5:本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください 別記 (n=178)

Q6:よろしければ、あなた(アンケート回答者)のことを教えてください

0	性別 回答数/割合(%) (n=322)					322)	
	男性	107/33. 2%	女性	178/55. 3%	(無回答 3	37/11.5%)	
0	年代			回答	答数/割合(%) (n=322)		
	未就学児	38/11.8%	小学生	96/29.8%	中学生	4/1.2%	
	高校生	1/ 0.3%	大学生	0/ 0.0%	その他一般 10代	4/1.2%	
	その他一般 20 代	11/3.4%	その他一般 30代	62/19.3%	その他一般 40代	49/15.2%	
	その他一般 50 代	13/ 4.0%	その他一般 60 代	; 11/ 3.4%	その他一般 70代	4/1.2%	
					(無回答	29/9.0%)	
0	お住まい		回答数/割合(%) (n=322)				
	相模原市	186/57.8%	その他神奈川県内	35/10.9%	神奈川県外	50/15.5%	
•					(無回答 51/15	5. 8%)	

Q5:本日の体験を通して、驚いたことや新しく知ったことなど、感想をお聞かせください。

様々な取組みがあり、とてもよいと思った。もっと勉強したいと思う。(未就学児・女性)

お年よりは大変だなと思った。(未就学児・男性)

きゃらくたー (未就学児・男性)

色の見え方が違うこと(未就学児・女性)

たのしかった (未就学児・男性)

クイズ楽しかった (未就学児・男性)

ややむずかしかったかな? (父) (未就学児・不明)

色か、手話、車いすがあることを知っていたけど、くわしくしれた。(小学生・女性)

まあまあだった。(小学生・男性)

お母さんを車いすに乗せたらおもかった。 (小学生・女性)

車いすにのってべんりだった。 (小学生・女性)

手話などを行なうのは自分も覚えないといけないし、相手も覚えないといけないからたいへん だと思った(小学生・女性)

車いすで、石の上を歩いたりするのは本当に大変だと思いました。(小学生・女性)

カードゲームをして色々な色がわかった(小学生・男性)

色弱の人は赤と黒がぜんぜんちがうのに同じように見えることがびっくりしました。 (小学生・女性)

色弱のことをしれてよかった。(小学生・不明)

おとしよりの体けんで色がよくわからなかった。 (小学生・不明)

お年寄り体験がいい経験になりました。(小学生・女性)

いろいろな所にバリアフリーがあって、おもしろかった。(小学生・男性)

手話は、むずかしいと思った。(小学生・女性)

もっと探してみようと思いました。 (小学生・男性)

いろいろな体験ができてよかった。(小学生・女性)

車いすは少しの段差でもたいへんでした。(小学生・男性)

手伝えることがあればいいと思った。 (小学生・男性)

おかあさんといっしょにきていろんなことをしてたのしかった(小学生・男性)

きたらやってた (小学生・男性)

お年寄りの気持ちが分かった(小学生・男性)

おじいちゃんになってたのしかったです。 (小学生・女性)

車いすはいしのあるところでもうごけるのをしりました。 (小学生・男性)

お年寄りの体験をして見づらかった。(小学生・女性)

楽しかった。(小学生・男性)

おじいさんたちがこんなにもつらいのが良く分かった。 (小学生・女性)

もっとバリアフリーの設備を作ったほうがいいと感じた。(小学生・男性)

車いすが楽しかった (小学生・男性)

車いすの人を助けたいと思った (小学生・女性)

車いすをもちあげるのが、すごかった。 (小学生・小学生)

たのしかった (小学生・女性)

身体の不自由な人は大変だなと思った (小学生・男性)

しゅわがわかるアプリがあるという事で、そのアプリをつかおうかなと思う(小学生・女性)

これから車いすに乗っている人を助けたいです (小学生・女性)

困った人を見つけようと思った(小学生・男性)

色が分かりにくい人がいるなんてはじめてしった(小学生・男性)

バリアフリーの取組みをもっとひろめるといいと思った。 (小学生・男性)

バリアフリーのことを知って、こんなにバリアフリーがあるとはじめてわかった(小学生・女性)

またきてみたい。こんどはゆっくり見たい。(小学生・不明)

車で体が不自由な人のためにつくられた車があるなんてしらなかった。(小学生・女性)

①の車のサービスでは、体の不自由な人のためになっていることに気がついてよかったと思っている。(小学生・女性)

お年よりはこんなに大変なんだなと思いました。(小学生・女性)

楽しかったです。 (小学生・女性)

年をとると色々不自由が出てきて不便になるのがよくわかった(小学生・女性)

すごくたのしくいいけいけんになった (小学生・男性)

カラーUDの体験は初でした。実際関わったことがありますが体験は新鮮でした。(小学生・ 女性)

鉄道もがんばってるな (小学生・女性)

トイレアプリがあることを知りました(小学生・男性)

不自由な人にはいろいろ苦労があるのだと思いバリアフリーを探してみようと思った (小学生・女性)

楽しかった (小学生・女性)

車いすが重かった(小学生・女性)

車いすに乗ってみて少し怖かったけど楽しかったです(小学生・女性)

お年寄りになったら体が重くなることにおどろいた(小学生・女性)

つらいことがわかった (小学生・男性)

学校の総合学習で福祉を調べていたからちょうどよかった(小学生・男性)

これからこまった人を助ける(小学生・男性)

これも学校でならったから他にもあってとってもよかった。(小学生・男性)

不自由な人のためにする事を知ってよかった。 (小学生・女性)

車いすは 1 回反対になって進むことを知り、車いすの事について考えようと思った。 (小学生・女性)

楽しかったのでまたやりたい(一般10代・女性)

色じゃくというピンクのものがむらさきにみえたりするのが 20 人に1人というのがびっくり

しました。 (一般 10代・女性)

トイレ。 (一般 10 代・女性)

おもしろかったです。 (一般10代・男性)

車いす体験をして、当事者の目線、こわさを知りました。こういう機会はとても大切だと思います。(一般 20 代・女性)

身体の不自由な人へのタクシーをみて乗りやすそうでよかったです (一般 20 代・男性)

車の乗り降りがこんなにも便利になっていることに驚きました。タクシーにも工夫されている ことを初めて知りました。手話クイズ楽しかったです。 (一般 20 代・女性)

坂道の下りはすべて後ろ向きで降りること(一般20代・女性)

手話は知っていると便利なので今後も興味を持つようにしたい(一般30代・男性)

子どもに分かりやすく教えるよい機会でした(一般30代・男性)

自分もいつお世話になるか分からないものなので、興味を持ちました(一般 30 代・女性)

タクシーのドアが90度に開くこと(一般30代・不明)

良いコトだと思いました。(一般30代・女性)

良いコトだと思いました。 (一般30代・女性)

良いコトだと思いました。(一般30代・女性)

車いすの体験で、少しの段差でも大きな障がいになることを知りました。普段ベビーカーを使 うのですが、それともまた違いを感じました。 (一般 30 代・女性)

便利なアプリを知ることができてよかったです。 (一般30代・女性)

車いすの動かし方がむずかしいことを初めて知った(一般30代・女性)

わからないことがたくさんあった。びっくりした(一般30代・女性)

バリアフリーは身近にまだないように思いますが、ほんとはみんなに優しい取組みなのだと思いました(一般30代・女性)

もっとたくさんのバリアフリーを知りたい(一般30代・女性)

子どもとバリアフリーについて学ぶことができた。子どもにもわかりやすくてよかったと思う。 (一般 30 代・女性) 新幹線の設備が充実していたのはおどろいた。 (一般30代・男性)

電車にも多くのバリアフリーを取り入れていることを初めて知った。 (一般 30 代・女性)

車いす想像以上に大変だと思いました(一般30代・女性)

年寄りに手を貸してあげようと思いました。 (一般30代・女性)

年寄りにやさしくしようと思いました。 (一般30代・男性)

ヨーカ堂にも色々な工夫があること(一般30代・女性)

お年寄り体験で今の自分ではわからないお年寄りの動きにくさがわかった。 (一般 30 代・女性)

今までバリアフリーにあまり興味を持てなかったが、今回の取組みを通じて色々子どもにも体験させることができてよかったです(一般30代・女性)

タクシーが一般車と同じ料金でおどろいた(一般30代・女性)

車椅子を使用したことがなかったので大変さを知りました(一般30代・女性)

介護タクシーが通常と同じ料金であることを知って驚いた。(一般30代・女性)

車いすを押したことがなかったので今後のための貴重な体験ができたかと思います。 (一般 30 代・男性)

昨年いた犬のコーナーがなくて残念でした。来年楽しみにしています。(一般 30 代・女性)

自分の名前を手話でできるようになった (一般30代・男性)

車いすでの移動は思ったよりも大変だった(一般30代・女性)

80歳の方の移動の苦労(一般30代・男性)

子ども達が実際に体験できる場はなかなかないのでとても良かった。大人でもこういう機会がないと体験する事がないので色々考えるきっかけになりました。色カードの見え方、お年寄りが買い物をするとこんなに大変なんだ等、絵本の手話も良かったです。ありがとうございました。(一般 30 代)

実際に体験してみてお年寄りの気持ちが分かった。介護タクシーや車の便利さ等を知ることができた。(一般 30 代・女性)

色弱の話(一般30代・女性)

車いすがすごく軽くなっているのにびっくりしました(一般30代・女性)

アプリでのバリアフリーの情報があることを知ってよかった(一般30代・女性)

タクシー、車いす、お年より体験、初めてのことで勉強になった。(一般30代・男性)

タクシー、お出かけサービスの車を初めて見てとても興味が持てた(一般30代・女性)

トイレのアプリとか登録したいと思った(一般30代・女性)

普段訪れるアリオで様々な工夫がなされていることを初めて知りました。(一般 30 代・女性)

車いすで進むには、バリアフリーでない場所はとても大変なんだと思いました(一般 30 代・ 男性)

子どもの教育に良い(一般30代・男性)

車いすの人が困っていたら手を貸してみたい (一般 40 代・女性)

UDタクシーを知りました。 (一般 40 代・女性)

手話が少しわかって楽しかったです(一般40代・女性)

特になし (一般 40代・男性)

子どもたちが車いす体験ができてよかった(一般40代・女性)

とても良い取組みだと思いました(一般40代・女性)

良い経験になりました。(一般40代・女性)

車いすの大変さを知った(一般40代・男性)

気付かなかった街の仕組みにおどろきました(一般40代・女性)

家庭でもとり入れられるバリアフリーがありそうだと思った(一般40代・女性)

新幹線にEVがあること(一般40代・男性)

アリオのカイダンには気付かなかった。勉強になった。 (一般 40 代・女性)

体験できてよかった。(一般40代・女性)

車いすでの段差 (一般 40 代・女性)

バリアフリーでないところが多いので車いすの人はふべん(一般40代・女性)

子どもが実体験できてよかったです(一般40代・女性)

バリアフリーについて最新の仕組みを知ることができてよかった(一般40代・女性)

車いす対応のタクシーがあるのを初めて知った。(一般40代・男性)

変身したことでお年寄りの行動に納得しました。今後意識してフォローしていきたい (一般 40 代・女性)

実際に車いすの体験をして、とても難しいと思いました。バリアフリーについて考えるきっか けになりました。(一般 40 代・女性)

とてもためになりました! (一般40代・女性)

お年寄りは歩くだけでも大変(一般40代・男性)

毎年の取組みの成果展示があるとよい(一般40代・不明)

結構体力を使うと思った(一般40代・男性)

色弱など自分の周りにも日常生活の中で困ったことのある方がいることがわかり、そういう目で見れるようになりたいと思いました(一般 40 代・女性)

街の中のバリアフリーをもっと探してみようと思った。(一般40代・女性)

視覚障害の方の仕事がおかされていると知りました(一般40代・女性)

偶然でしたが参加できて大変勉強になりました(一般40代・女性)

福祉車両の動きに驚きました。はじめて見ました(一般40代・男性)

なかなか子どもに体験させられない事が体験でき、家族の中で話す機会にもなった (一般 40 代・女性)

なかなか出来ない体験を子供にさせられた。またやってほしい。 (一般40代・女性)

たくさんのバリアフリーの取組みがあることを知りました(一般50代・女性)

とても貴重な体験ができ、身体の不自由な人のことがわかりよかった。これからは不自由な人 を助けてあげるようになりたいと思います(一般 50 代・男性)

知らなかったバリアフリーの取組みを知ることができてよかった。 (一般50代・女性)

高齢になると通常の生活が大きな負担になることがよくわかった。誰もが使いやすい過ごしや すいものを作っていくのは大切だと感じた。(一般 50 代・女性)

車いす (一般50代・女性)

アリオ橋本のUDについてよく分かった。 4 ばんのとりくみもよかった。 5 ばんを体験してみて勉強になった。 (一般 50 代・女性)

バリアフリー大切だと思った(一般50代・女性)

車いすの操作の意外なコツ (一般50代・女性)

乗車体験させてもらいよかった、手話の絵本楽しかった(一般50代・女性)

体が不自由な方の気持ちが分かり、済みやすい社会を一緒に作り上げていけたらよいと思った。 (一般 50 代・女性)

身近に感じました。(一般60代・女性)

家でも外でも階段や駅などいろいろ取組みがあることを知りました(一般60代・女性)

バリアフリーになればよい (一般60代・女性)

車いす体験を通じて坂道の難しさを知り、街で役立てようと思った。 (一般 60 代・男性)

介護タクシーではなくても普通のタクシーの中から身体の不自由な人用でも乗れるタクシーを 予約できると知ったこと、お年寄りや身障者の体験ができることは皆がバリアフリーに 関心を持ちやすくなるので良いと思った。 (一般 60 代・不明)

知らないこともあり、学べてよかったです(一般60代・女性)

高齢者の方、障害者の方々の見えない部分がわかり。地域にて探してみたいと思いました(一般 60代・女性)

車いすのバリアフリーに体験し乗る方もこわかったです。押すのも大変でした。(一般 60 代・女性)

エスカレーターの速度のヒミツがわかった(一般70代・女性)

フェスタ実行委員会構成団体アンケート

※回答団体数 n=21 (うちフェスタ参加団体 11・未参加団体 10)

問1 貴団体コーナーの参加人数(スタンプを押した人数)を教えてください。

回答団体数 (n=21)

※未回答団体分については、当日の報告数字を加算

計 2,054名

問 2	フェスタでは、	参加者に伝	えたいことを伝え	.ることができましたか。	次の中からあてはま
る <u>も</u>	のを1つ選んで	ください。	(0は1つ)		(n=11)

	1	伝えること	ができた	9	2	分からない			2	3	伝わらなれ	かった	0
					+								
	問2	で「2分か	らない」「	3 伝わ	らな	かった」と	お答	えの方	[]				
問	2 –	2 伝える	ことができ	なかっ	た理	曲は何です	か。	(Olt	いくつ	つでも	も)	(n=2)	
	1	内容が難し	,すぎた	<u>1</u>	2	内容が簡単	すぎ	<i>t</i> =	0	3	来場者に興	<u>味がなかった</u>	1
	4	当日の対応	時間が足り	りなかっ	o <i>t</i> =	1	5	フェス	スタの	準備	時間が足り	りなかった	0
	6	その他()	0									

問3 貴団体以外のコーナーで、よかったと思うコーナーはどれですか。次の中から3つまで選んでください。(Oは3つまで) (n=38)

1	知ってる?アリオ橋本の UD クイズ! (株) イトーヨーカ堂	2	2	気分楽々クイックマッサージ (NPO)神奈川県視覚障害者福祉協会	9
3	わが家のバリアフリーチェック (公社)かながわ住まいまちづくり協会	1	4	スマホでバリアフリー体験 (NP0) Check	3
5	カードゲームで学ぶカラーUD (NP0)カラーユニバーサルデザイン機構	2	6	「お年寄り」に変身してみよう! (社福)相模原市社会福祉協議会/(社福)神奈川県社会福祉協議会	6_
7	みんなで手話にチャレンジ! (公社)神奈川県聴覚障害者協会	4	8	車いすで坂道をのぼってみよう! (NPO)神奈川県障害者自立生活支援センター/横浜市まちづくりセンター	7
9	鉄道のバリアフリーを知ろう 東日本旅客鉄道(株)横浜支社	2	10	だれもが使いやすい UD タクシー (一社)神奈川県タクシー協会	0
11	お出かけサービスって、な〜に!? (NPO)かながわ福祉移動サービスネットワーク	0	12	よかったコーナーはなかった、 分からない	2

問 4	貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。(〇はいくつでも)(n=3	5)
	1 団体内への広報用ちらし配布	10
	2 広報用ちらしの一般配布(配布場所: 別記)	5_
	インターネットでの告知 3 (広報手段:ホームページ・Twitter・Facebook・その他(別記))	5_
	広報媒体への掲載 4 (具体的な広報媒体: 別記)	3
	テレビやラジオなど、マスコミを使った告知 5 (具体的な広報媒体: 別記)	1
	6 その他(別記)	5
	7 広報は実施していない	3
問5 つ	次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ) (n=2	
	<u>1 参加したい 11</u> <u>2 分からない 9 3 参加したくない 0 4 未回答</u>	<u> 1</u>
_	↓ 問5で「2分からない」「3参加したくない」とお答えの方に】 5−2 参加したいと思えなかった理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=9))
	1 準備する時間がない 22 スタッフが確保できない 53 予算がない	5
	団体の取組みと _ 4 フェスタの趣旨が違った 1 _ 5 効果が少ない 1 _	
	その他 3 6 (別記)
	יים מיניל איים פוריים פורים פוריים פורים פוריים פורים פוריים פוריים פוריים פורים פוריים פוריים פוריים פוריים פוריים פוריים פוריים פורים	<u>'</u>
問6	次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由にお書きください 	60
	別記	
問7	御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。	
	別記	

問5:次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを 1つ選んでください。

1

【問5で「2分からない」「3参加したくない」とお答えの方に】

問5-2 参加したいと思えなかった理由は何ですか。

1準備する時間がない

2スタッフが確保できない

3予算がない

4団体の取組みとフェスタの趣旨が違った(NPO法人神奈川子ども未来ファンド)

<u>5 効果が少ない</u>(NPO 法人神奈川子ども未来ファンド)

6その他

- ・ 他のイベントへの参加もあり、調整を要するため (一般社団法人神奈川県タクシー協会)
- ・ この時期協会のイベントと重なり苦慮している (一般社団法人神奈川県バス協会)

問6:次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ お客様は、どの位の時間がかかるのかを1番気にされていた。チラシにだいたいの所用 時間を記載しておくとよいのではないか。また、各ブースの旗に番号を入れておくと、現 在地も含めてわかりやすい。「スマホでバリアフリー体験」のコーナーはスマホを使用し たブースだが、一見すると担当者が下を向き、スマホをいじりながらお客様を待っている ように見え、もうひと工夫しないとお客様によい印象を与えないのではないか。(株式会 社イトーヨーカ堂)
- ・ 3回の開催地が、アリオ橋本と続いている、障害者のバリアーに対する啓蒙を県民に広く伝えるために、開催場所を変えなければ、バリアーフェスタの意味が無くなってしまう。 県内施設やモールなどできそうな会場はあると思います。 (NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会)
- ・ 来場者の話し声などの影響で、講演会の講師のお話が聞き取りにくい場面があった。 (公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会)
- ・ 武蔵小杉で行ないたい。橋本は遠い。 (NPO 法人 Check)
- ・ 希望としては隔年開催が望ましい(一般社団法人神奈川県バス協会)
- ・ 今回は開会のタイミングがわかりづらかった。のぼり旗はもう少しにぎやかな色使いに してもよいのでは。(飾り付けてもよいのでは)(NPO 法人カラーユニバーサルデザイン 機構)
- ・ 担当のブースの対応に追われ他のブースの見学や内容を知ることが出来なかったので全体的な構成が分かるようにしたほうが良い。(これは地域社協が会議に加わっていないので資料でしか読み取れないこともあるのですが全体的に何が行われているのか内容を見たいと感じました)(社会福祉法人相模原市社会福祉協議会)

- ・ 担当のブースは、息つく暇もなくお客様がみえたので、装着具がフル回転で、帰ってこられるお客様と出発されるお客様のことを考えると、スペースが非常に狭かった。各ブースの見学ができなかったので、全体の評価をするのが難しい。(社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)
- ・ 隣のブースの旗がこちらのブースの横にあった為、場所確保の問題があったと思います。 騒がしい中で手話の読み取りや読み聞かせの声を伝えるのはかなり大きな声を出さねばならなかったので、マイクがあればよかったと思います。他のブースの兼ね合いもあるでしょうが。関係者がPRした範囲の人々が、おそらく参加下さったと思いますが、もっと一般の方々の参加ができるようなPRの方法がなされるとフェスタの意味があると思います。フェスタのポスターをいろいろな施設に貼る事も必要かなと思います。事前のPRをもっとして頂くと各ブースへの集客が出来たのではないでしょうか。

ステージでのパフォーマンスの時、今何をしているかが分かるように演目(めくり)の様なものがステージ横にあると良かったのではないでしょうか。

アリオの入り口にどこで何をしているかの大きな案内地図(誰もが目に付くような)ある と分かり易かったのかもしれません。ステージを使わない時間が多かったので、もう少し 有効利用したほうが良い。朝の準備の際に、少し段取りが悪かったように感じた。誰が指 示をするのか曖昧だった。(公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会)

- ・ イベント開催はいつもクリスマスシーズンですので、神奈川県のマスコット『かながわキンタロウ』と、アリオのクリスマスイメージキャラクター、『マイメロディ』とで『Xmas・バリアフリー・ショートコント』をステージで行う等すると更に子供受けし、入場者増に繋がるでしょう。(NPO 法人横浜市まちづくりセンター)
- ・ せっかくすばらしい取り組みを行っているので、もう少し広報活動に力を入れてアピー ルしていくべきだと感じました。そうすることで企業のPRにもなるので出展団体も増え るのではないでしょうか。 (東日本旅客鉄道株式会社横浜支社)
- ・ 福祉車体験をファミリー層にしてもらい、身近にかんじてもらえたのはよかったと思うが、体験しながら、クイズなどして学習してもらえるようにすればよかった。 (NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク)
- ・ 子供に説明する際には、身近な事例を使いながら「どんな問題があるのか、それをどうやって解決しているのか」を説明すると、更に知識が身につくと思います。飽きてしまう子供もいるので、子供の様子を見ながら説明するのが良いのではないかと思います。イベント会場の HP でフェスタを探したのですが、当日のイベントリストに入っていなかったので、実際に実施されるのかどうか少し心配でした。フェスタ開催を会場のイベント案内に入れてもらった方が来場者に安心感があると思います。(今井委員)
- ・ 小学校低学年や幼稚園児も楽しめるようなブースを用意したい。親の滞在時間増加に効果ある。この会場は、親子や小学生以下の来場者が確保できる。学生や 20 代の来場者が少ない。今後は、開催場所や開催回数も視野に入れて、中・高校生や大学生(専門学校を含む)の来場施策も考える必要がある。具体的には、開催回数を2回とし、1回は橋本で単独開催、もう一回は、学生や 20 代の来場者が見込める他イベントにブースまたはエリ

ア出展する。時期は6-7月。(酒井委員)

- ・ 当方、メッセージの木・景品交場を担当しましたが、気になった点を記します。スタンプラリーのアンケート記入とメッセージの木へのメッセージ作成をひとつの長テーブルで行っていました。混雑する時間帯などテーブルがいっぱいとなり、スムーズにご案内することができませんでした。人が溜まり、エスカレータの降り口、他店舗まで人が膨らむ場面も見受けられました。動線が交差する場面もありましたので、次回以降、テーブルとスペースの確保、それから動線を考慮した配置をすると、よりスムーズにご案内できるのでは、と感じました。広報面ではフェスタの専用サイトがあると、とても広報しやすいのにと感じました。また、何かテーマを一つ設けて、そのテーマに沿って各団体が展示を構成するとフェスタに一体感が出るのではないかとの感想も持ちました。(NPO 法人ことばの道案内)
- ・ アリオ橋本さんの積極的な支えは得難い利点だと思います。場所は変更せずにプログラムに新鮮さを取り入れていくようにすれば、更なる深みが出てくるのではないでしょうか。 昨年度参加したメンバーから、問3-2④⑤の感想が出ていました。ですが、大勢の来場者を見込めるフェスタは魅力があり、機会を活かしきれなかった当ファンドの取り組み方を反省すべきとも思っています。 (NPO 法人神奈川子ども未来ファンド)

問7:御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 備品について、パーテーションが今回ない事を懸念していたが、結果として入口側のパーテーションがない事で、多くの方にお立ち寄り頂いた。ステージ側のパーテーションについては、ステージのあった場合にも集中してクイズに参加して頂く為に必要だった。 (株式会社イトーヨーカ堂)
- ・ 会場全体が狭いために、各ブースが接近していて私たちのコーナーが全体ブースの中に あり来場者がよくわからなかったのではないか。ブースはそれぞれに来場者の通り道に面 して出展させてほしい。(公益社団法人神奈川県視覚障害者福祉協会)
- ・ フェスタの会場としては、条件の良い場所であった。来店する客に合わせた時間帯の開催で集客が見込めた。 (一般社団法人かながわ住まいまちづくり協会)
- ・ 学生メンバーにとって、いい経験をさせてあげられたと思いました。(NPO 法人 Check)
- ・ 本年も丸テーブルと長テーブルを用意いただき本当に助かりました。ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。 (NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構)
- ・ 準備の段階で、早く集まったにもかかわらず、機材の搬入が遅く、グランドガーデンの 設営がなかなか出来ず、開店前は無駄な時間を過ごすことが多かった。(社会福祉法人相 模原市社会福祉協議会/神奈川県社会福祉協議会)

・ 聴導犬の参加が無く、残念です。障害者、高齢者、子供たちにとってのバリアフリーフェスタとして、いろんなブースがあると良いですね。

初めて参加しましたが、手話に関心のある方が私の予想より多く来ていただけて嬉しかったです。行く前はだれも来てくれなかったら寂しいと思っていました。質問に答えてくれたり、ミニ劇に参加してもらえました。こういう形で手話が少しずつでも広がっていけると良いと思いました。

会場での手話通訳 2名では足りないと思った。実際ブースを回る聴覚障害者に同行するのと、ステージでの通訳が重なって忙しい思いをしていた。逆に外に配置している手話通訳者 2名は仕事がないように見えた。手話通訳者の人数配置を考えた方が良いと思う。

各ブースの目印の旗は、たぶんその場限りで処分すると思いますので、頂ければ嬉しい。 寒い日だったが、思ったより参加者が多く、たくさんの子供たちに体験してもらえてよかった。対応するスタッフが足りないくらいで会場が離れていた関係で、他の団体を見て回る余裕がなかったのが残念でした。 (神奈川県聴覚障害者協会)

- ・ 三年連続アリオ橋本開催ですので、アリオではなく、同じ系列のイトーヨーカ堂での開催も検討すべきでしょう。 (NPO 法人横浜市まちづくりセンター)
- ・ 実行委員会やバリアフリーフェスタに出席する中で、各団体とも少しでもバリアの少な い街づくりをしていこうとする前向きな姿勢が非常に勉強になりました。

県民の方々に公共交通のバリアフリーについて理解を深めていただく良い機会だと思いますので、他の交通事業者(鉄道、バスなど)の出展について積極的に働きかけをしていただければと思います。

開催場所について、毎年同じ場所ではなく、毎年場所を変えることでより多くの方々にバリアフリーについて考える機会を提供できると思います。

- ・弊社も交通事業者として、バリアフリーの重要性を再認識し、多くのお客さまに安全・安心・快適にご利用いただけるよう、更に努めて参ります。 (東日本旅客鉄道株式会社横浜支社)
- 初めて参加しましましたが、県民への啓発活動として相応しいイベントだと思います。 一方、県全域への啓発は継続的な課題ですが、同様のイベントを拡大することが解決策と も思えません。県内の様々なセクターを通じた啓発活動の拡大が望ましいと思います。 (藤解委員)
- ・ 準備・撤収とお世話になりました。 (酒井委員)
- ・ 共に参加しました。その結果をご報告します。全体として、とても楽しかったそうで来 年も行きたいそうです。おそらく、お友達をさそって参加すると思います。スタンプを押 してもらえると、「全部集めたい!」という意欲が涌いてくるようなので、子供向けのイ ベントではスタンプは有効だと思います。また後日、娘に理解内容を確認してみたのです が、予想以上にきちんと理解していました。小学生は学校で少し手話を習っているので、 実際の手話通訳を見るのは新鮮だったようで、知っている手話を一生懸命真似していまし た。このような、社会への応用ができる具体的な体験が増えると、子供たちは自然に UD を身につけられるのではないかと思います。(今井委員)

- ・ 今回はスタッフとしてのみの参加となりました。上記のとおり、大変混雑していたのと、 初めての参加ということもあり、残念ながらあまり他の参加ブースを観てまわることがで きませんでした。それでも短時間でちらっと見て回った際に、車椅子での坂道体験などは 作り込みもしっかりしており、大変魅力的に映りました。 (NPO 法人ことばの道案内)
- ・ 隔年開催という方法も選択肢に加えてほしい。 (一般社団法人神奈川県バス協会)
- ・ 私の理解不足ですが、会議に出ていて、全体のトーンが最後まで掴めませんでした。コーナープログラムに依りすぎてはいないか、バリアフリーの理念を広げる工夫など全体を統一するテーマ設定は不要なのだろうかなど疑問を持ちました。参加団体が多く時間の制約もある中、結局はゴール目指して走る他ないのだろうなとも思いつつ、子どもの育ち支援をテーマに活動している当団体としては、少々、気持ち的に出遅れております。 (NPO 法人神奈川子ども未来ファンド)
- ・ 参加できず申し訳ありませんでした。 (神奈川県手をつなぐ育成会)
- ・ 私たちの団体は障害の種類も多く、各障害団体に任せています。 (公益財団法人神奈川 県身体障害者連合会)

バリアフリーフェスタかながわ 2015 関連会議 開催状況

□ 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

第10回 平成27年7月22日(水)

- ・県民会議の運営について
- ・会議の傍聴について
- ・県民会議の経緯について
- ・今後の県民会議について

□ バリアフリーフェスタかながわ 2015 実行委員会

第1回 平成27年8月21日(金)

- ・実行委員会の運営について
- ・バリアフリーフェスタかながわの概要について
- ・参加団体のコーナーについて
- ・来場者の誘導策について
- ・ちらしデザインについて

第2回 平成27年9月16日(水)

- ・参加団体のコーナー、区割りについて
- ・広報用ちらしについて
- ・のぼり旗について
- ・スタンプラリーについて
- ・役割分担について

第3回 平成27年10月28日(水)

- ・バリアフリーフェスタかながわ 2015 の運営について
- ・バリアフリーフェスタかながわ 2015 に関するアンケートについて
- ・その他

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議 バリアフリーフェスタかながわ実行委員会 名簿

※ 第3回実行委員会時のもの(敬称略・五十音順)

NO		氏	名		所属等
1	会	\Box	辰王	三郎	一般社団法人神奈川県タクシー協会
2	石	Ш	永	子	横浜市立大学国際総合科学部
3	石	Ш	清	貴	公益社団法人商連かながわ
4	井	上	憲	司	公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会
5	今	井	朝	子	フリーランス・ユーザーリサーチャー
6	大	塚	順	子	NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
7	大	原	_	興	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
8	小 <u>空</u> 山	S原 形	冬	実 樹	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社
9	小	澤		茂	公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会
10	柏	倉	曲	姫	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
11	片	Ш	啓	介	NPO 法人横浜市まちづくりセンター
12	金	子	健	=	NPO 法人 Check
13	河	原	雅	浩	公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会
14	玉	島	正		神奈川県飲食業生活衛生同業組合
15	合	Ш	悠现	■子	株式会社イトーヨー力堂
16	斉	藤		進	産業能率大学情報マネジメント学部
17	酒	井	英	典	公募委員
18	下	村		旭	一般社団法人神奈川県建築士会
19	鈴	木	治	郎	NPO 法人神奈川県障害者自立生活支援センター
20	鈴 関	木谷	孝 幸	幸 夫	NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会
21	滝	澤	広	明	一般社団法人日本民営鉄道協会
22	\blacksquare	ф	陽	介	NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構
23	藤	解	和	尚	公募委員
24	西	Ш	和	朗	公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
25	野		富美	 €子	神奈川県手をつなぐ育成会
26	Ш	崎	利	通	一般社団法人神奈川県バス協会
27	Ш	Ш	幹	悟	NPO 法人ことばの道案内
28	吉		多	美	認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド
29	若	林	伸	=	神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合